

## 種目別指導者研修会を実施しました

○ソフトテニス男子 9月30日（土）長与中テニスコート

内 容 実技指導と中学生を対象とした指導法について

○バレーボール男子 10月1日（日）結の浜マリパーク

内 容 ビーチバレーボールのルール・マナーなど



令和5年度 **第1回長崎県運動部活動地域移行担当者会**が開催されました。

10月6日（金）14時から県教育庁体育保健課主催の運動部活動地域移行担当者会が、オンラインで開催されました。各市町1～3名の担当者が参加しました。はじめに、ゲストスピーカーとして、スポーツ庁担当者から令和6年度に概算要求している「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の説明があり、その後、長崎県としての現状報告や今後の方針などの説明がありました。後半は、各市町を3つのグループに分け、現状報告や課題、質疑応答など活発な意見が交わされました。各市町でそれぞれに課題はあるものの、検討委員会の立ち上げやアンケートの実施など進捗状況の共有があり、他の市町でも部活動の地域移行に向けた取組が着実に前進していることが感じられました。

## 大分県・熊本県の総合型地域スポーツクラブ視察団 来訪

9月21日（木）熊本・大分から合わせて約30名の視察団が長与町に来ました。長与スポーツクラブの取組み・地域移行の現状などの説明を行ったあと、活発な質疑応答がありました。



長与町の取組みをそれぞれの地域に生かしたいと喜んで帰途につかれました。

## 遠い 11人

先日、読売新聞のオンライン記事に国見中学校サッカー部の話題が掲載されていた。国見中学校と言えば、元日本代表の大久保嘉人さんら多くのJリーガーを輩出し、全国中学校体育大会でも優勝と準優勝を一度ずつ達成するなど県内の強豪校で知られた学校である。現在18人いる部員も、この秋に3年生が引退すると1年生1人と2年生3人の計4人に減り、試合に必要な11人はそろわなくなる。国見中学校も生徒が減り続け、今年度は256人となり、多かった時に比べると160人減少したという。できれば「国見中」で試合に出たいと願う生徒の思いに反し、秋以降は、近隣校との合同チーム化が検討されているそう。やりたいスポーツができなくなる、こういった少子化による生徒数の減少から部活動の減少を改善することが、部活動の地域移行の目的の一つであり、各地で部活動地域移行が進められている。

長与町の地域スポーツ活動は、参加者の皆様からの会費のほか、様々な財源で支えられています♡



長与町では、随時、企業や個人の皆様からの寄附、企業版ふるさと納税など、受付をしております。

【本件お問合せ先】 長与町教育委員会 学校教育課 部活動の地域移行担当

TEL 095-801-5681 FAX 095-883-7151 E-mail gakkyo@nagayo.jp